

共同礼拝（アドベント第2主日）

2024年12月8日(日) 午前10時30分

午後4時

司式 牧師 姜 徑米

奏楽 本多友子

前 奏

招 詞 イザヤ書 60章1, 2節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書 詩編113編 1～9節 (旧954)

フィリピの信徒への手紙2章1～11節

(新362)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 96

説 教 「低さの神」 牧師 高橋和人

祈 禱

讃 美 歌 121

献 金

頌 栄 540

祝 禱

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。
礼拝は前の方から静かに着席しましょう。

12月の祈り

アドベント・クリスマスを迎え、神のひとり子、真の神が真の人となられた救いの出来事を思い起こし、その恵みの光に導かれてこの時を歩むことができるように。

御言葉を光とし、礼拝を守り、心静めて祈りの時を持つことができるように。

高齢、体調などにより願いながら礼拝に集うことがかなわないでいる兄弟姉妹たちを覚えて。

クリスマスに向けての諸予定と備えが導かれ整えられるように。

戦争と紛争の地に平和がもたらされるように。

今日の祈り

アドベントの信仰生活が導かれ、主の御降臨と御受難を覚え祈りの時を持つことができるように。

教会、幼稚園、教会学校のアドベント・クリスマスの諸行事が支えられるように。

寒さ厳しくなる中、弱っている兄弟姉妹が支えられるように。

「低さの神」 牧師 高橋和人

フィリピの信徒への手紙2章1～11節

アドベントにあって、クリスマスと同じ思いで迎えることを願う。同じ思いとなることができない。むしろ、人の世界にひびが入っているように見える。亀裂はいたるところに入り込む。

パウロは、同じ思いとなり、同じ愛を抱き、心を合わせ、思いを一つにして欲しいと願う。教会でもひびの入る経験をする。

そのためには、へりくだること、互いに相手を自分より優れたものと考え、他人のことを考えることだ。すると自分にどれにも欠けていることが分か

る。それどころか、むしろ心がむき出しになっている。自分にこだわり、赦せない思いが先に立っている。割れているところに必要なことはいやされる希望を持つことだ。それがなければ、闇に覆われてしまう。いたわりと修復がなければならない。

光を失っているならば。光を取り戻さねばならない。クリスマスは光だ。その光をキリストが見せておられる。神と一つであるお方、その姿を表されるお方、そのお方から見えてくるものがある。それを受け止め心掛けねばならない。

主は自分を無にし、僕、奴隷となられた。人と同じに奴隷となられた。人は無自覚な奴隷となっている。主はその人に仕える奴隷の姿となられた。

人は主人になろうとする。しかし、主は徹底的に仕える僕となられた。クリスマスは神が低くなられた出来事だ。歴史自体に意味を持たせる刻印だ。そうでなければ時の流れて行く川に過ぎない。低くなられることで神が神話ではなく現実となられた。

キリストが見せておられるもの。飼い葉桶と十字架。皇帝の命令に翻弄され、泊るところがなく飼い葉桶に寝かされていた姿に、天使たちの讃美が降り注いでいる。低くなられた所に気高さが見える。

その方は十字架の死に至るまで従順であった。飼い葉桶と十字架に低くなられた姿がある。傷つけることをせず傷を癒し、低いものを高められる。

キリストはこの低さのゆえに引き上げられ、最も高い名を与えられる。礼拝される。既に主の誕生に礼拝が捧げられたように。この低さこそ主の高さの理由。泊まる宿もなく全ての高貴なものではなく、ただ布に包まれて寝かせられている。この方を何よりも信頼し委ねるところに、対立と分裂が克服され、一つとされる道がある。